

## I 事業概況

### 【0】基本方針・重点課題と成果

1. インターネット活用が進化する変化の激しい世界の流れの中で、エスペラントの周知、発展に努めた。また会員が日本エスペラント協会（以下、本会という）を支える重要性を訴え、新入会キャンペーンを行った。会員数は維持に届かなかったが、減少を例年より抑えることができた。
2. 第2回日韓共同開催エスペラント大会（第105回日本エスペラント大会・第50回韓国エスペラント大会、10月、奈良にて）の開催に注力し成功させた。日韓両国のエスペラントティストをはじめとする多くの参加者があった。
3. 来年度の本会創立100周年に向けて記念事業を計画し推進した（JEI 100年史編纂、『La Revuo Orienta / エスペラント』(RO誌)初号よりの全収録DVD等制作、図書館整備、JEI創立100周年記念第106回日本エスペラント大会など）。

### 【1】エスペラント普及事業

(担当：普及推進部)

#### 【1.1】基本方針と成果

1. 青年組織を含む国内外のエスペラント団体との協働を進め、関係を強化するように努めた。
2. 会員との連携を強化し、会員以外の団体、個人を含めた協働の輪を広げた。
3. 広報委員会の活動を軸として一般への効果的なエスペラント広報活動を進めた。

#### 【1.2】エスペラント普及推進事業

1. エスペラント運動の現状把握  
「エスペラント運動年鑑2017」をRO誌4月号大特集として発行した。また「エスペラント運動年鑑2018」のための情報提供を受け、RO誌2019年4月号大特集として発行した。
2. 各エスペラント団体の連携強化、活動支援に努めた。
  - (1) 地方エスペラント大会（6大会）に理事長挨拶を送り、5大会に理事が出席した。
  - (2) 「エスペラント会懇談会」のメーリングリスト（FLES）が情報共有、経験交流の場と

して有効に機能した。

3. 小坂賞：原田英樹、原田扶佐子夫妻への授賞を決め、日本エスペラント大会で授与した。
4. 青年エスペラント企画支援金：1件支援、86千円。同支援金規程の一部を改定し、青年層、地方団体により一層使いやすしいものとした。
5. 会員の拡大・定着：団体会員2団体減（58団体）、個人会員22人減少（1023人）。個人会員の内、新入会員58人、電子版会員46人、青年会員42人（個人会員は2019年初、団体会員は年度末）。
6. 2018年6月より2020年3月までの入会に限り特別割引を行う入会キャンペーンをJEI創立100周年記念事業の一環として開始した。
7. 世界エスペラント協会による広報に協力し、「国際母語の日」の日本語版広報資料の作成を行った。

#### 【1.3】エスペラント広報事業

1. 広報委員会をスカイプで6回開催した。
2. ニュースリリース「エスペラントの今」を3回発行した。No.14（6月）「今年の世界大会はポルトガルのリスボンで開催」、No.15（9月）「第2回日韓共同開催エスペラント大会」、No.16（2019年2月）「エスペラントと『国際母語の日』（2月21日）および『国際先住民言語年』（2019年）」
3. 広報材料の拡充に関して、エスペラントを効果的に紹介しているYouTubeにアップされた外国の動画に字幕をつける試験的試みを行った。
4. 第3回動画コンクール（2019年）開催にむけて計画的に準備・公募活動を開始した。映像制作に関連のある大学、専門学校50校程度にチラシを郵送するなど、募集案内を通じてエスペラントの広報にも努めた。
5. グローバルフェスタ2018（9月29日～30日、東京、お台場）に出展し、ボランティアの協力で、「エスペラント5分ミニ講座」、活動報告などを行った。連続「5分講座」には多くの若者が訪れた。広報チラシ約400部、エスペラント紹介冊子約70部を配布した（2日

目は台風のため中止)。

6. Facebook、Twitterなどで、日本エスペラント協会アカウントで積極的に情報発信をした。

## 【2】エスペラントを用いた国際交流事業

(担当：国際部)

### 【2.1】事業の方針と成果

1. 国際的なエスペラント事業を、特に世界エスペラント協会 (Universala Esperanto-Asocio = UEA) の日本における国別代表組織として推進した。また、UEA のアジア・オセアニア委員会 (Azia-Oceania Komisiono = KAEM) と協働した。事業には、日本の UEA 委員、UEA-delegito (都市代表者)、KAEM 委員及び協力者が協働して当たった。
2. 日本のエスペランティストが行う国際的なエスペラント活動を支援した。
3. 外国のエスペランティストに日本の各種エスペラント行事への参加を促した。

### 【2.2】国際交流事業

1. 第103回世界エスペラント大会 (ポルトガルのリスボン、7月21日～28日)
  - (1) 参加旅行団を計画、旅行社が実施し、自由コース5人を含め計22人が参加した。
  - (2) Movada Foiro (運動フェア) に出展した。
  - (3) UEA-A 委員1人が UEA 委員会に出席した。
2. 第2回日韓共同開催エスペラント大会 (第105回日本エスペラント大会、【6.2】1. 参照)
  - (1) UEA の Delegito (都市別代表者) 分科会、Pasporta Servo (国際的な無料宿泊サービス) 分科会を開催した。
  - (2) 東アジア3カ国の代表組織に招待状を送り、ベトナムから1人が参加した。
3. その他
  - (1) 青年エスペランティスト国際行動支援金については、4人に供与した (計282千円)。
  - (2) 国際文通サービスを継続して実施し、9件を仲介した。
  - (3) 次期 (2019-2022) UEA-A 委員2人を選出した (1人交代)。
  - (4) 次期 (2019-2022) KAEM 委員を選出した。

## 【3】エスペラント研究教育事業

(担当：研究教育部)

### 【3.1】事業の方針と成果

1. 教育部門においては、エスペラント学習者の語学力向上の支援、エスペラント指導者の

指導力強化、教材や資料の提供、学校を含むエスペラント界外でのエスペラント教育に関連する事業の支援等に取り組んだ。

2. 研究部門においては、エスペラント語学の振興および関連諸分野との交流を含めたエスペラント語論の発展に取り組んだ。
3. ハケ岳エスペラント館を本会の研修施設として活用し、エスペラント運動に一層貢献できるようにした。
4. 事業活動の円滑な推進のためには、それらの活動を担う人材の確保と効果的な業務分担が不可欠であるという観点から、引き続き研究教育部員及び各種委員の募集に努めたが、充分ではなかった。

### 【3.2】研究教育事業

1. エスペラント集中学習の機会として、エスペラント集中セミナーを、6月23日～24日に国立女性教育会館 (埼玉県嵐山町) で実施し、29人が参加した。
2. 前年度に開始したエスペラント指導法勉強会を継続し、予定通り終了した。5月までに2回インターネット・ビデオ会議を開催し、各回6～7人が参加した。
3. 各種試験
  - (1) エスペラント学力検定試験は、5月に吹田市で6人、10月に奈良市で9人、札幌市で5人、2019年3月に東京都で11人が受験した (計31人)。試験委員を新たに1名委嘱し、さらに各級検定基準の明確化に向けた取り組みを開始した。
  - (2) UEA の主催する KER 試験 (Komuna Eŭropa Referenckadro、ヨーロッパ言語共通参照枠に基づく試験) を6月16日にエスペラント会館で実施し、7人が受験した。
4. 「学校に緑の風を」基金による支援を4月に1件、11月に1件実施した。
5. ウェブサイトでの講座「ウェブ版ドリル式エスペラント入門」の学習支援を継続して行った。
6. エスペラントの語学的概要を紹介する短編動画作成のための検討、準備を行った。
7. 文芸コンクールを実施し、6件の応募から3件の入賞作品を選び、日本エスペラント大会で表彰した。
8. 日本エスペラント大会の研究発表会を開催 (4件の発表) し、『2018年度日本エスペラン

ト協会研究発表会予稿集』を発行した。

### 【3. 3】ハヶ岳エスペラント館における事業

1. 4月8日に開館し、11月9日の閉館の間、延べ宿泊利用者数は、運営委員を含め444人であった。
2. 昨年度よりの寄付金体系を引き続き実施した。
3. 運営は運営委員15名の体制で行い、円滑な運営ができた。
4. 「春のハヶ岳エスペラント館の日」の行事を4月20日～22日に実施し、18人が参加した。
5. 第20回エスペラント漬け合宿(NEK)を8月25日～27日に実施し、15人が参加した。
6. 「秋のハヶ岳エスペラント館の日」の行事を9月15日～17日に実施し、17人が参加した。

### 【4】エスペラント雑誌の刊行事業

(担当：編集部)

#### 【4. 1】事業の方針と成果

雑誌『エスペラント／*La Revuo Orienta*』(RO誌)を年11回発行し、エスペラントの普及発展に資した。

#### 【4. 2】雑誌刊行事業

1. RO誌を毎月(8、9月は合併号)刊行した(電子版、音声版を含めて)。発行部数は1300部。
2. 他部門と連携し、大特集号を発行した：4月大特集(エスペラント運動年鑑2017)、2018年1月号大特集(第105回日本エスペラント大会報告書)。
3. 編集会議を11回、拡大編集会議を2019年2月2日に実施した。

### 【5】エスペラント図書等の刊行及び頒布事業

(担当：出版部)

#### 【5. 1】事業の方針と成果

1. エスペラントの学習、エスペラントに関する文化の発展、エスペラント普及に資する図書出版活動を行った。
2. 内外のエスペラント図書を仕入れて販売した。また内外のエスペラント雑誌購読を取り次いだ。

#### 【5. 2】図書刊行事業

1. 図書の発行
  - (1) 藤巻謙一著『はじめてのエスペラント・CD付』を4月に増刷した。
  - (2) 藤巻謙一著 新書版『エスペラント 日本語を話すあなたに』を10月に発行した。

- (3) 手塚治虫作、小西岳訳『*Flambirdo (parto Futuro)*／火の鳥・未来編』の第2版を本会から写真製版手法により12月に発行した。

- (4) 『*Kanĵi-Vortaro por Lernantoj (Esperanta Eldono)*／漢字学習辞典エスペラント語版』(日韓辞典研究所編)を2019年2月に発行した。

#### 2. 今後の出版物の計画

- (1) 新日本語エスペラント辞典編集委員会を2回(通算9回)開催した。
- (2) 『JEI100年史』(仮題)編集のためのJEI100年史編集委員会を発足させ、編集会議を4回開催した。
- (3) エスペラント日本語辞典の電子辞書化について検討を進めた。

### 【5. 3】図書頒布事業

エスペラント書籍・雑誌の販売、取次ぎを行った。

### 【6】エスペラント大会主催事業

(担当：大会組織部)

#### 【6. 1】事業の方針と成果

2018年の日本エスペラント大会を開催し、また同大会を毎年継続して各地で開催できるよう大会開催候補場所の検討、交渉を進めた。

#### 【6. 2】日本エスペラント大会主催事業

1. 第105回日本エスペラント大会を第2回日韓共同開催エスペラント大会として奈良県奈良市で開催した。
  - (1) 開催日：2018年10月12、13、14日(金、土、日)
  - (2) 会場：奈良県文化会館
  - (3) 共同主催団体：一般社団法人関西エスペラント連盟、韓国エスペラント協会
  - (4) 同時開催：第50回韓国エスペラント大会
  - (5) 大会テーマ：エスペラントで語る文化の多様性と共通性／*Diverseco kaj Komuneco de Kulturoj – en Esperanto*
  - (6) 参加者：543人、実参加422人(韓国より78人、他12カ国・地域より20人)。
  - (7) 経緯：本大会は2011年に第1回日韓共同開催エスペラント大会(第98回日本エスペラント大会)が韓国で開かれて以来の共同開催大会であり、相互開催の観点から、第2回を日本で開催した。
2. 第106回日本エスペラント大会(埼玉県さ

いたま市、2019年10月12日～14日)について、大会テーマ、大会エンブレムを決定し、準備を進めた。本大会はJEI創立100周年記念大会となる。

## 【7】 其他事業及び法人の管理

(担当：総務部、財務部、ウェブ管理部)

### 【7.1】 事業の方針と成果

1. 本会のエスペラント事業の核となる会員の活動を支援し、会員数の維持・拡大に努めた。
2. 各事業部門と連携し、事業が円滑に行われるよう支援した。
3. 本会のより効果的な管理・運営方法の確立に取り組んだ。

### 【7.2】 総務部担当事項

1. 総務部の職務(庶務、会員管理、エスペラント会館管理活用、役員支援など)を事務局および関連委員会(選挙管理委員会、小坂賞委員会)の協力を得て、着実に実行した。
2. 事務局の課題には、財務部とともに事務局会議を5回開き対応した。
3. JEI創立100周年記念事業の一環としての図書館整備の計画案を策定した。
4. 『JEI在庫図書カタログ』の形式、発行時期等については具体的検討までには至らなかった。本カタログ改訂PDFの本会ウェブページへの掲載を1回行った。
5. 国際部と協力し、第103回世界エスペラント大会(ポルトガルのリスボン)へ向けて旅行団を計画し、旅行社が実施した(【2.2】1.(1)参照)。
6. 本会事業の継承ができるよう運用を開始した電子化された情報保管庫(Dropbox)の利用を進め、理事・協議員全員が支障なく利用できるよう支援した。

### 【7.3】 財務部担当事項

1. 公益目的支出計画および長期予算計画との整合を取りつつ、中長期的な視野の下に堅実な収支運営を図り、本会事業の執行を財務面から支えた。
2. 長期予算計画(2011年度作成)と実際の経過との差につき点検を行った。

### 【7.4】 ウェブ管理部担当事項

1. 本会ウェブサイト、Facebook、Twitter、エスペラント会懇談会のウェブサイトにて、エスペラントやその活動の広報、会員への情報

公開サービスを行った。

2. 2018年9月に本会ウェブサイトの基盤であるWordPressシステムの更新を行った。

## II 庶務事項

### 1. 会議の開催

- (1) 評議員会：6月16日
- (2) 理事会：5月20日、6月17日、2019年3月24日
- (3) 業務執行理事会：9月9日、2019年1月20日
- (4) 副理事長会：4月20日、7月13日、11月16日、2019年2月15日
- (5) 監査：5月19日
- (6) 協議員会：2019年1月20日
- (7) 会員総会：10月14日、第105回日本エスペラント大会にて

2. 会員：1082(2019年初、個人会員1023、団体会員59)

### 3. 役員・職員等の人事

- (1) 評議員：変更なし、理事・監事・協議員：新任。
- (2) 理事・監事：任期終了(6月)のため、協議員による理事及び監事候補員申選挙を実施(定数：理事11人、監事2人、推薦締切：4月20日、推薦候補者：定数と同数、開票：5月12日)。評議員会(6月17日)にて新任期(2018年6月～2020年6月)の理事・監事を選任。新理事による理事会(6月18日)で理事長、副理事長、業務執行理事の業務分担を決定。
- (3) 協議員：2019～2020年任期の協議員選挙(定数11人)を実施(告示：10月1日、立候補締切：11月6日、立候補者：14人、開票：12月8日)。
- (4) 職員：相川拓也が2019年3月21日に事務局次長に就任。

### 4. その他

テナント：1階奥に2019年3月よりテナント入居(1年間)。 (以上)